

入札監理小委員会における審議の結果報告 事務用電子計算機システム運用維持管理業務

(独) 国立青少年教育振興機構が実施する「事務用電子計算機システム運用維持管理業務」については、公共サービス改革基本方針(別表)において、平成28年4月より民間競争入札による業務を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項(案)を入札監理小委員会で審議したので、その結果(主な論点と対応)を以下のとおり報告する。

1. 過去の業務情報について

【論点】

過去の業務情報(障害発生状況等)について、具体的に開示する。(低価格で実施されているため、その価格で出来る内容であることがわかるよう情報開示により実態を具体的に示す必要がある)

【対応】(資料 3-2 通し PP10)

2.1. (イ)本業務の内容に「問い合わせ・障害連絡票」を開示する旨を追加した。

2. 総合評価における加点ポイントの具体化について

【論点】

技術的に求めているところを明確にし、どこに重点が置かれているのか、加点されるポイント配分の見直しなどを検討したらどうか。

【対応】(資料 3-2 通し P68、69)

総合評価落札方式における評価項目の見直し(評価のポイント、価格点・技術点の修正)、評価水準の追記を行うとともに、技術審査チェックシートを開示することとした。

3. SLAの基準見直しについて

【論点】

現行事業ではSLAを定めていないとのことであるが、次期事業者が入札を躊躇しないような内容にSLAの基準を見直して欲しい。(厳しく見える)

【対応】(資料 3-2 通し PP11、12)

2.(2)確保されるべく本業務の質のコ、サ、シにおける基準の値を機構の要求レベルに応じた現実的なものに修正した。

4. 意見募集の結果報告

- ・平成27年7月21日～8月7日(18日間)までの意見募集期間に2者から10件の意見が寄せられた。(うち1者は現行請負業者)
- ・「引継ぎ費用の負担に関する事項」、「業務内容の明確化」など4件の修正対応を行った。

以上